

岸和田市の環境施策について（年次報告）

I. 環境計画の数値目標と進捗状況

(28年度末時点)

基本 目標	指標の項目名	指標の目安	進捗状況
1	人工海浜で確認された 生きものの数	より多くの生きものの生息を 目指します	310種 貝類：90種、甲殻類：42種 魚類：21種、陸上植物：36種 海岸性甲虫類：8種 昆虫類・クモ類：71種 鳥類：42種 (出典) きしわだ自然資料館「ちきりアイランドの人工 干潟における環境保全活動実践業務」報告書より
	市民一人当たりの 都市公園面積	8.4㎡/人 ※	8.8㎡/人
	施設緑地面積	342.00ha ※	342.81ha
	里山保全活動数	毎年、増加を目指します	2,378人/年
2	環境基準の達成	すべての項目での環境基準達成	<p>大気</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染物質（5物質） 光化学オキシダント超過 ・有害大気汚染物質（4物質） 環境基準達成 ・微小粒子状物質（PM2.5） 環境基準達成 <p>騒音</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般地域（5地点） 4地点環境基準達成 ・道路に面する地域 全戸数の96%環境基準達成 ・航空機騒音（1地点） 環境基準達成 <p>水質</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共用水域（7河川11地点） ・健康項目（27項目） 津田川諸井堰ジクロロメタン超過 ・生活環境項目（5項目） 牛滝川 大腸菌群数超過

2	環境基準の達成	すべての項目での環境基準達成	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物の保全の項目 (3 項目) 環境基準達成 地下水 (概況 3 地点、継続監視 10 地点) ・環境基準項目 (28 項目) 環境基準達成 ダイオキシン ・大気・水質・水底の底質・土壌 環境基準達成
	生活排水適正処理割合	89.9% ※	90.0%
3	市民 1 人当たりの年間 温室効果ガス排出量	4.0 t-CO ₂ 「岸和田市地球温暖化対策実行計画 (区域施策)」目標値(平成 32 年度)より	6.6 t-CO ₂ (平成 26 年度)
	市民 1 人 1 日当たりの一 般家庭普通ごみ 排出量	384.2 g ※	411.3 g
	事業系ごみ年間排出量	24,536 t ※	31,080 t
	リサイクル率	18.0% ※	14.5%
4	地域の環境保全活動数	毎年、増加を目指します	7,977人

※ 「岸和田市まちづくりビジョン(第4次岸和田市総合計画)第2期戦略計画」平成29年度目指そう値より

II. 計画の体系

「目指す方向（環境像）」と「基本目標」の実現に向けて、「取組の方向性」と「施策」を次のように整理し、計画を推進します。

	基本目標 (環境指標)	取組の柱	取組方針
目指す方向 (環境像) 自然を友に 人・まち・未来	1 生物多様性に配慮し、人と自然との共生を図る (人工海浜で確認された生きもの数、市民1人当たりの都市公園面積、施設緑地面積、里山保全活動数)	(1)生物多様性の保全	①生態系に配慮した自然環境の保全と創出
			②水とみどりの保全と創出
			③生きものや自然とのふれあいの促進
			④外来生物への対応
		(2)自然資源の利用の促進	①豊かな自然資源の活用
			②環境と調和した安全・安心な農水産物生産の推進
	2 健康で安全に暮らせる潤いのある環境を形成する (環境基準達成状況、生活排水適正処理割合)	(1)生活環境の保全	①健康に過ごせる生活環境の保全
			②新たな環境課題への対応
		(2)快適で美しいまちづくりの推進	①快適環境の保全とモラル・マナーの向上
			②地域の特性に応じた景観の保全と創造
		(3)健全な水環境・水循環の創出	①水環境の保全
			②水資源の確保と有効活用
	3 持続可能な循環型社会を形成する (市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量、市民1人1日当たりの一般家庭普通ごみ排出量、事業系ごみの年間排出量、リサイクル率)	(1)低炭素な暮らしや事業活動の推進	①低炭素なまちづくりの推進
			②省エネルギー・再生可能エネルギーの活用推進
			③環境に配慮した移動手段対策の推進
		(2)減量化・再使用・再資源化・適正処理の推進	①廃棄物の発生抑制の推進
②再資源化の推進			
③適正処理の推進			
4 環境を大切にした価値観の醸成と活動を促進する (地域の環境保全活動数)	(1)環境に関する情報の公開・提供の推進		
	(2)地域の環境保全活動・環境教育・環境学習の促進		